



アジェンダ

◆ WebStorage基礎 sessionStorage localStorage

◆本日の実習
メモ帳

◆チュータリングタイム

sessionStorage

シンプルに使える sessionStorage

ウィンドウ/タブ単位でデータを一時的に保存できる。

ウィンドウやタブが開いている間、Webアプリケーション利用に関するデータをそれぞれの単位で保存し、ウィンドウ/タブが閉じられると、データは消滅します。

ウィンドウ/タブ間では異なるsessionStorageとなり共有はできない。

サーバサイドで使われるSESSIONの仕様ににている。



シンプルに使える

\sim sessionStorage \sim

属性	説明
DATA取得	sessionStorage.getItem(KEYネーム);
DATA登録or更新	sessionStorage.setItem(KEYネーム, 値);
DATAを全削除	sessionStorage.clear();
1レコード削除	sessionStorage.removeItem(KEYネーム);

localStorage

シンプルに使える localStorage

ブラウザ内に永続的にデータを保存するストレージ。

保存は「ドメイン名:ポート番号」の組み合わせ「オリジン」単位で保存されます。(例:http://www.localhost:80) 「オリジン」が同等であればブラウザを閉じた後も再度データにアクセス可能。

保存量は、「オリジン単位:5~10M」 、Cookieが4KB。 保存期間は特になし。

自身の意志で削除しない限りデータは残ります。

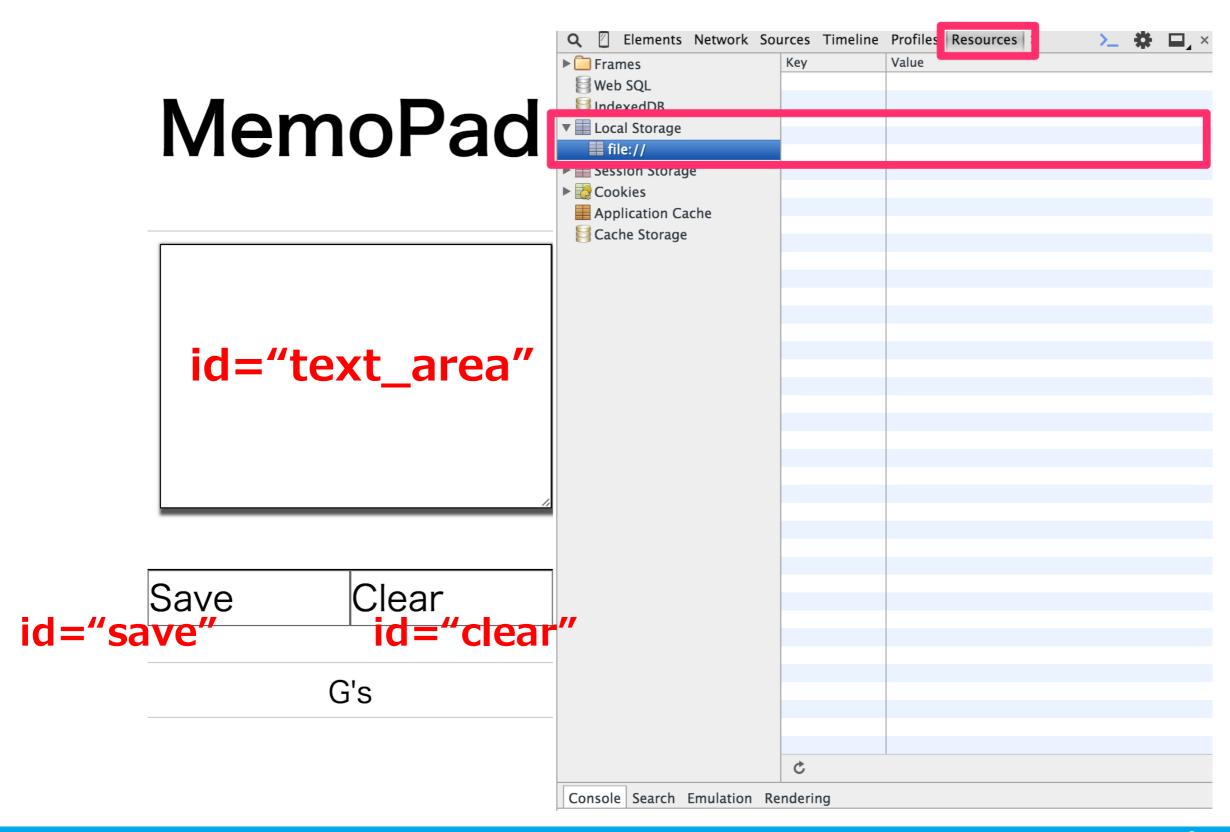


シンプルに使える

∼ localStorage ∼

属性	説明
DATA取得	localStorage.getItem(KEYネーム);
DATA登録or更 新	localStorage.setItem(KEYネーム, 値);
DATAを全削除	localStorage.clear();
1レコード削除	localStorage.removeItem(KEYネーム);

実習!



HTML

```
<header>
  <h1>MemoPad</h1>
</header>
<main style="display:none;">
 <textarea id="text area"></textarea>…入力表示
  ul>
   id="save">Save ・・・データ保存 id="clear">Clear ・・・データ削除
  </main>
<footer><small>G's</small></footer>
```

JS

```
//最初に必ず記述!
```

\$(document).ready(function(){

```
//この中にSCRIPTを記述していく
```

});

JS

```
//1.Save クリックイベント
$("#save").on("click",function(){
  var value = $("#text_area").val();
  localStorage.setItem("memo", value);
  alert("Saveしました");
});
```

JS

```
//2.clear クリックイベント
$("#clear").on("click",function(){
 localStorage.removeItem("memo");
 alert("Clearしました");
 $("#text_area").val("");
});
```

```
//3.ページ読み込み:保存データ取得表示
if(localStorage.getItem("memo")){
   var value = localStorage.getItem("memo");
   $("#text_area").val(value);
}
```

```
JS
```

```
//ロード時に表示
//※こんなこともできる例
$("main").slideDown(2000)
.animate({top:100,left:100},1000)
.animate({top:-50,left:-100},1000)
.animate({top:0,left:0},500);
```

チュータリングタイム

盛り上がってますね~!



メンバー同士の進捗報告&教え合い!

プロジェクター側

